

## ○専攻科各方針

### <修了の認定に関する方針>

- ・ 社会人にふさわしい高度な教養、考え方を身につけたか。
- ・ 美術、デザインの高度な専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができるか。
- ・ 自らの創作について、他者に伝える高度なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたか。
- ・ 美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる高度な能力を身につけたか。

### <教育課程の編成及び実施に関する方針>

共通選択科目は、多彩な科目を開設しています。それらは専攻科生としてだけでなく、社会人としても通用する思考と鋭敏な感性を身につける場として位置づけています。

自分の興味や関心に従って、主体的に学ぶことで、豊かで多様な学問的視点や知見を身に付け、専門性の高い教養豊かな人材の育成を目指しています。

必修・選択必修科目は現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的に捉えたカリキュラムとなっており、本人の実技体験を通して、専門性を高める必修・選択必修制を取り入れています。

美術コース（絵画・彫塑）、デザインコース(グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース)の各領域ごとに、より専門性の高い知識や技術を集中的に修得しながら、自らの発想を表現することを学びます。

後期は主にそれまで培った知識、技術、表現力を基にした修了作品を制作します。修了制作では1年間の集大成として自己の発想、表現の可能性を追求し作品として成立させること、そして社会に対して発表することを学びます。

### <入学者の受入れに関する方針>

- ・ 社会人にふさわしい教養、考え方を身につけた人
- ・ 美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができる人
- ・ 自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけた人
- ・ 美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる能力を身につけた人を求めています。